

令和5年度実証実験サポート事業 課題提案票

テーマ 10	3D都市モデルを活用した地域課題等の解決
--------	----------------------

1. 解決したい課題の内容

昨年度、浜松市では、浜松市域の3次元地理空間データに建物情報や災害リスク等の都市活動に係る属性情報を付加した3D都市モデルを整備した。この3D都市モデルは、オープンデータとして公表し、行政だけでなく民間企業や研究機関等の活用により、イノベーション創出の活性化や地域課題の解決に繋げていきたいと考えている。

しかし、その利活用推進に向けては以下の課題がある。

① 3D都市モデルの周知不足

3D都市モデルは情報を有する地図であるため、多くの方々に活用していただくためには、その概要や本市の整備内容を広く認知していただく必要があるが、一部にしか知られていない。

② 各分野における課題等の情報不足

現状では各分野における課題等を把握できておらず、課題解決の基盤情報として3D都市モデルを提案し、マッチングをすることができていない。

③ 市内の作動環境の未整備

現在、市内におけるGISの活用は地図情報システムによるが、3D都市モデルは容量が大きく、地図情報システムのアプリケーションでは活用できないと想定される。また、ArcGIS等のGISアプリケーションは、基本的にインターネット環境のあるパソコンが必要となるため、市内で活用したくとも活用が困難である。

2. 実現したい目標について

- ・現在、一般的に知られている地形図と同様に3D都市モデルが認知され、活用が図られている。
- ・市内においては、地図情報システムのように、各課が3D都市モデルを活用することが可能となる。

3. 必要とする技術について

以下を想定するがこれにこだわらない。

- ・課題とその解決を補佐する基盤情報をマッチングするAI等
- ・オフラインで作動するアプリケーション技術

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

以下内容を想定するがこれにこだわらない。

- ・ 3D都市モデルの周知とユースケースの検証
- ・ オフラインで作動する3D都市モデル活用システムを庁内に試験導入し動作を検証する

希望時期：なし

5. 課題に関連する事業のホームページ URL

- ・ 国土交通省「PLEATEAU の取組みについて」

<https://www.mlit.go.jp/toshi/daisei/content/001519500.pdf>